

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

茶 道 始 め ま し た 。

川 畑 雅 義

(入野医院 内科)

数年前から、茶道を習いたいと思っていたのだが、なかなか都合がつかず、先送りになっていた。

興味を持ったきっかけは、妻が先に習い始めた事である。家での練習に付き合い、美術館にも一緒について行くうちに、「自分もやってみよう。」と思うようになっていった。

そして去年8月から入野医院で働くようになり、少し時間の余裕が出来たので、ついに習い始める事を決意した。

まずは、教室選びであるが、その前に流派選びである。最近、テレビでよく見るのは武者小路千家の若宗匠であり、なんとなく楽しそうである。また、ルー大柴さんのいる遠州流も捨て難い。はたまた、うちの実家は浄土真宗なので叡内流もいいかも、などと考えたものの、結局は妻と同じ表千家で習う事にした。こうして、やっとの事で教室選びが始まった。

妻は「お茶は男の人のものだから。」と繰り返し言っていた。「茶道は元々室町から桃山の戦国武将の間で興隆した文化だし、現代においてもお家元近くの教授陣も男性ばかりだから。」と妻は言っていた。しかし、今は茶道を習っている人は圧倒的に女性である。男性の生徒が一人もいない教室もたくさんあ

るに違いない。なんとか男性のいる教室を探そうと考えたが、なかなか情報がないものである。

そこで、男の先生がやっている教室なら、男の生徒もいるだろうと考え、職場から近い事もあり、今の教室に入門する事とした。去年の10月の事である。しかし、少し不安もあって、それはインターネット上の情報を組み合わせていくと、先生のお歳が、どうやら90歳ぐらいだという事である。

恐る恐る見学に行くと、そこには、あまりにもお元気な88歳の先生がおられ、心配は杞憂に終わったのであった。

現在は週1回、6時間ほど稽古場にいるのだが、実際にお点前の練習をしているのは1、2時間で、それ以外は、客として、お菓子を食べ、お茶を飲み、話をして過ごしている。

そこでの話題は、茶道にまつわる事以外にも、映画や歌舞伎、旅行、自分の行ったお店、テレビのことまで様々であるが、僕が一番好きなのは先生が語る昔の大阪の話である。

大阪にも芸者さんが1000人以上いて、花街も賑やかであった頃の話、それはそれは素晴らしく上品な大阪弁で話されるのである。(現在のなんばマルイのところは南街会館だったが、さらに昔は芸者さん達の練習場



だったとのこと。)

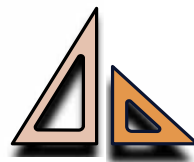
小さい頃、先生が初めてカツサンドを食べた時の話もイイ話である。戦前の話だが、大阪にも北大路魯山人の経営する星ヶ岡茶寮があったとのこと。ある日、先生が外で遊んでいると、一人の男性に星ヶ岡茶寮の場所を尋ねられ、教えてあげたそう。その日の遅くに、住み込みのお手伝いさんから「ボン、ええもんが届いてまっせ。」と聞いて見に行くと、道を教えてくれたお礼にカツサンドが置いてあったのであった。

その当時に星ヶ岡茶寮では、すでにお土産にカツサンドを作っていたことが分かり、贅沢だなあと感心した。しかも、トンカツではなくピフカツであったそう。そのせいか、先生は今でもトンカツよりもピフカツが好きだそうで、この食欲が不老長寿の秘訣かもしれない。(ちなみに先生はスマートな方です。)

そんなこんなで、始めて半年、お点前も客作法もなかなか覚えられずに苦労しながらも、楽しく稽古場の夜は更けてゆくのでありました。



理事会報告



◎平成 28 年度 4 月定例理事会

日 時 平成 28 年 4 月 22 日(金)

午後 8 時～9 時 45 分

場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 次期大阪府医師国民健康保険組合会議員の選出について<佐久間会長>
標記会議員を選出したい。任期は、28 年 5 月 1 日～30 年 4 月 30 日まで。
現会議員 太田幹夫先生(なんば太田クリニック・任期～4 月 30 日まで)。

協議の結果、徳田好勇副会長に決定。

※後日、大阪府医師国民健康保険組合会議員の規程により、太田幹夫先生は国保審査委員の任期が終わる 28 年 12 月末まで就任することとなった。徳田好勇先生は、29 年 1 月から就任する予定。

2. 次期就任の浪速区医師会役員の選任・選定および大阪府医師会代議員・同予備代議員の選出について <佐久間会長>
資料のとおり了承。
3. 日本橋中学校、日本橋小学校、日東小学校、日東幼稚園の学校医、園医の交代について
<澤井副会長>
このほど、川田喜代子先生(川田耳鼻咽喉科)が 3 月 31 日をもって退職され、後任に大野聡史先生(おおの耳鼻咽喉科・4 月 1 日付就任)を推薦することとなった。

協議の結果、了承。

4. 平成 28 年度事業計画について
＜澤井副会長＞

別添資料のとおり了承。ただし、一部
修正することとなった。

5. 平成 27 年度決算・事業報告（公益目的
支出計画実施報告書）について
＜木田理事＞

別添資料のとおり了承。

6. 日本警備通信株式会社の産業医の推薦依
頼について ＜岡藤理事＞
標記事業所より産業医の推薦依頼があった。

協議の結果、産業医部会で決定するこ
ととなった。

7. 定時総会（5 月 25 日〈水〉）の開催・役
割分担について ＜中村理事＞
別添資料のとおり了承。
当日の役割分担は次のとおり。
議長 工藤議長、事業報告 中村理事
事業計画 澤井副会長
予算決算 木田理事

8. その他
なし。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
（4 月 22 日〈金〉） ＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷報告事項

(1) 第 136 回日医臨時代議員会（3 月 27
日）報告の件

▷連絡事項

(1) 平成 28 年度予防接種副反応状況調査
実施の健

(2) 平成 28 年（2016 年）熊本地震に

おける日本医師会災害医療チーム
（JMAT）派遣（事前調査）の件

(3) 平成 28 年度経済センサスー活動調査
協力依頼の件

(4) 5 月度行事・会合日程の件

▷協議

▷退任される郡市区等医師会長のご紹介

▷閉会

（詳細 略）

2. 大阪市医師会連合会について
（4 月 18 日〈月〉） ＜佐久間会長＞

▷連絡事項

(1) 大阪市小児ぜん息等医療費助成制度廃
止にかかる周知の件

(2) 平成 28 年度大阪市風しん対策関係事
業の実施に係る協力依頼の件

(3) 平成 28 年度大阪市嘱託産業医の業務
の件

(4) 大阪市胃がん検診における胃内視鏡検
査実施検討に向けた現状把握調査実施
の件

▷報告事項

(1) 大阪市介護認定審査会・正副会長会（
3 月 9 日）報告の件

(2) 大阪市障がい者施策推進協議会（3 月
23 日）報告の件

(3) 大阪市地域包括支援センター運営協議
会（3 月 23 日）報告の件

(4) 大阪市社会福祉審議会 高齢者福祉専
門分科会（3 月 30 日）報告の件

（詳細 略）

3. 難波特別支援学校となにわ高等特別支援学
校の学校医・産業医について

＜澤井副会長＞

大阪府と協議を重ねた結果、次の会員が
就任することとなった。

内科校医 宇田 創先生

（そうわ内科クリニック）

眼科校医 吉野 成泰先生（吉野眼科）

耳鼻咽喉科校医 中村泰久先生

（耳鼻咽喉科中村クリニック）

4. かかりつけ医機能研修制度郡市区等医師
会担当理事連絡協議会について
(4月20日(水)) <有田副会長>

次第は次のとおり。

- ▷開会
- ▷挨拶
- ▷協議

(1) 日医「かかりつけ医機能研修制度」に
ついて

(2) 質疑応答

- ▷その他
- ▷閉会

(詳細 略)

5. 浪速区在宅医療・介護連携推進会議につ
いて

(4月20日(水)) <橋村理事>

次第は次のとおり。

- ▷DVD『在宅医療を知っていますか？
家で最後まで療養したい人に』の視聴
- ▷リスト・マップの作成について
- ▷その他

(詳細 略)

6. 定期地域ケア会議について

(4月21日(木)) <橋村理事>

次第は次のとおり。

- ▷報告
- ▷地域課題解決に向けて

(詳細 略)

7. 病診連携委員会について

(3月28日(月)) <久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷第72回病診連携委員会報告について
- ▷在宅医療やブルーカード等に関する意
見交換
- ▷本会の在宅医療連携の現状について
- ▷その他

(詳細 略)

8. 在宅連携合同会議について

(4月13日(水)) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷在宅医療と介護の連携基盤構築支援事
業(メディケアカード)について

▷在宅医療と介護の連携基盤構築支援事
業(メディケアカード)の進捗状況に
ついて

▷参加協力団体の確認と今後の進め方に
ついて

(1) 各団体の意向

(2) 今後の課題・計画について

▷その他

(詳細 略)

9. 在宅医療実践セミナーについて

(4月21日(木)) <久保田理事>

次第は次のとおり。

▷挨拶

▷訪問看護師による在宅医療の現状

▷ターミナルを含めた再起の在宅医療事
情

▷質疑応答

▷まとめ

なお、出席者は、医師12名、看護師10名、
介護支援専門員5名、事務局1名 計28
名。

(詳細 略)

10. 決算委員会について

(4月11日(月)) <木田理事>

協議事項「5」参照。

11. 医療問題研究委員会について

(4月13日(水)) <中村理事>

次第は次のとおり。

▷開会

▷議事

(1) テーマ 今期2年間の委員会活動ま
とめ

(2) その他

▷閉会

(詳細 略)

12. その他

なし。

次回理事会

平成 28 年 5 月 27 日〈金〉 午後 8 時～

4 月度 学術講演会報告

日 時 4 月 16 日〈土〉 午後 2 時
演 題 機能性便秘の診断と治療
～当院のルビプロストンの
使用経験を踏まえて～
講 師 大阪府済生会中津病院
消化器内科 江口 考明 先生
出席者数 11 名
共 催 マイラン EPD 合同会社
情報提供 慢性便秘症治療薬
「アミティーザカプセル 24 μg 」
担 当 富永良子

便秘症には現在明確な定義がなく、便自体の硬度が硬いこと、便の量が少ないこと、排便の頻度が少ないことを便秘とすることもある。あるいは便は普通に出るが残便感や腹部膨満感のような症状が重なる場合や、最近では排便に時間がかかる場合、排便時に手でお腹を押さえるような排便困難がある場合も便秘と捉えることができる。

日本の学会における便秘の定義として、日本消化器病学会では「排便困難や腹部膨満感など症状を伴う便通異常」を便秘症と定義している。便秘の分類について、急性と慢性があり、慢性の中でも器質性、機能性、症候性、薬剤性、IBS（過敏性腸症候群：Irritable Bowel Syndrome）に分類している。国際的には、ROME III 基準に基づき機能性便秘を症状ベースにて診断し、過敏性腸症候群は除外するという基準を採用している。A-H 分類の C が機能性腸障害であり、5 つに分類されている。この基準では、6 か月前から少なくとも 3 か月間で基準をみたすという、慢性機能性疾患の診断の定義を明確にしている。硬便の判断にはブリストル便形状スケールがあり 7 タイプ存在する。



実際の臨床では、便の回数と量、硬便か軟便か、といった便の性状で判断する。3日間排便が無い場合、あるいは硬便で患者さんが出にくいと感じている場合は、便秘と診断している。

便秘により引き起こされる疾患には、メラノーシス、虚血性腸炎、直腸潰瘍、憩室出血、憩室炎などがある。便秘の人は心血管イベントが多いという報告も出ている。

現在の便秘治療は、まず器質的疾患を除外した後に生活指導を実施し、多くは薬物療法を行うというのが現状である。生活指導として、適切な食事の摂取と十分な繊維質・水分・乳酸菌含有食物の摂取、定期的な運動習慣、規則正しい睡眠習慣と排便習慣などがあり、薬物は刺激性下剤、機械的下剤、その他の下剤、浣腸・坐薬などに分類できる。

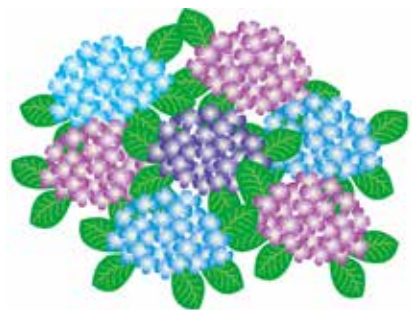
我が国における便秘治療の問題点としては、刺激性下剤の処方量が他の国と比較して非常に多い点であり、薬剤の耐性による処方の増加が懸念されている。刺激性下剤の頻用による大腸黒皮症に関しては、最近の研究ではがんとの関係性を示唆する論文も出てきている。また、塩類下剤の代表である酸化Mgも汎用されているが、高齢者、腎機能障害者において高Mg血症が報告され、注意喚起をされた現状がある。ルピプロストン(アミティーザ®)は小腸からの水分分泌を促進し、緩下剤の長期使用例や硬便にも効果があった。腎障害による高Mg血症の患者に、酸化Mg製剤を中止し、ルピプロストンに変更するとほぼ1か月で血清Mg値が低下することが多かった。骨盤底筋障害で浣腸が必要な患者でも、浣腸が不要になり有効だった。

ルピプロストンの副作用対策としては、下痢や悪心を誘発することがあるため、1日1カプセルから開始し、効果不十分のときは1日2カプセルに増量している。1日2カプセル投与しても効果のないいわゆるノンレスポnderは10%程度認めた。

6月度学術講演会のお知らせ

6月の浪速区医師会講演会はおやすみです。
次回、多数の先生方の参加をお待ちいたします。

本勉強会は、大阪府医師会生涯研修システムの対象となっておりますので、生涯教育チケットの持参をお願いいたします



浪速区医師会 活動の伝言板

平成 28 年 6 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3歳児健康診査

- 保健福祉センター

6 月 23 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

小児科 宇田 創

眼 科 山尾 信吾

耳鼻科 落合 薫

1歳6ヶ月児健康診査

- 保健福祉センター

6 月 2 日(木)午後 1 時 40 分～ 3 時 30 分

川田 信哉

B C G 接 種

- 保健福祉センター

6 月 16 日(木) 午後 2 時～ 3 時 30 分

工藤俊次郎・入野 宏昭

急病診療所出務

- 中央急病診療所

6 月 16 日(木) 深夜 22:00～30:00

篠原 嘉伸

- 今里休日急病診療所

6 月 5 日(金) 10:00～17:00

糸田川隼也・川田 信哉



ドクターのあらゆる要望にお応えします。



大阪府医師協同組合
<http://www.omca.or.jp>

[本部] 大阪市中央区上本町西 3-1-5 〒542-8580
TEL 06-6768-2071(代) FAX 06-6768-2012

[南部出張所] 堺市堺区甲斐町東 3-2-26 堺市医師会館 1F 〒590-0953
TEL 072-223-6081(代) FAX 072-223-5094

この他にも、さまざまな事業を展開しています。

詳しくは



医 業

医療機器、医療消耗品からリフォーム、クリニック開業・医業継承支援まで、医業に関する幅広いサポートを行っています。
また、豊富な経験を持つ専門家による相談会も実施。

- 医療用品通販カタログ「GooDs」
- 医療機器のリース・無金利分割販売
- 最新医療機器展示会、セミナー・実技講習会



く ら し

趣味や教養を深めるイベントから旅行、住まいのご相談まで、皆様のプライベートを応援。

- JAPAN DOCTOR'S CARD
- 書籍販売サイト「KNOWLEDGE WORKER」
- ドクターズツアー・パッケージツアーの割引特典
- イベント・各種セミナーの開催



保 険

医業とくらしを取り巻くさまざまなリスクに備え、充実のラインナップをご用意しております。スケールメリットを活かした割安な掛け金で、万一の事態に備えることができます。

- 損害保険・生命保険(団体割引有)



あとがき

工藤俊次郎

肥 満

肥満が健康を害することは今や常識となっており、糖尿病になることは知られているが、最近では一部のがんの罹患リスクを高めることも指摘され、万病のもとと云われている。2013年に世界188ヶ国で死亡した人について分析した結果によれば、最も死亡リスクが高かったのは高血圧症で、2番目が喫煙、次いで肥満(高BMI)であった。BMIは体重をメートル換算した身長²で割った数値である。世界保健機関(WHO)は、BMIが25以上を過体重、30以上を肥満と分類している。肥満は心筋梗塞や糖尿病などさまざまな病気のリスクを高める。脂肪細胞は善玉ホルモンであるアディポネクチンを分泌し、傷ついた血管壁を修復するなど重要な役割もあるが、内臓脂肪が増えるとアディポネクチンの分泌が減り、同時に血圧の上昇など悪い働きをするホルモンも分泌する。

日本肥満学会が肥満と定めているのは、世界基準より厳しくBMI 25以上である。日本人は白人に比べてインスリンの分泌能力が低く、糖尿病を発症しやすいためである。BMIが25以上になってもすぐに減量をはじめする必要はない。糖尿病に移行の恐れがある耐糖能障害のある人や、脂質異常症、高血圧症、脂肪肝、脳梗塞、冠動脈疾患、高尿酸血症、月経異常、腰痛症などの整形外科的疾患など、肥満関連疾患のうち1つ以上を発症し、肥満症と診断された場合には食事や運動療法が必要になる。近年注目されているのは肥満によるがんのリスク増大である。BMIが上昇すると乳がんの罹患率が上昇することが指摘されている。女性の乳がん罹患率はBMI 30以上ではBMIが23～25未満の1.34倍である。

乳がんの発症や進行には女性ホルモン(エストロゲン)の過剰分泌が深くかかわるが、閉経後の女性は脂肪細胞がエストロゲンの分泌を促すため、肥満ではリスクが高まる。

それではとにかく痩せればよいのだろうか。むしろ痩せすぎの方が危険で、感染症への抵抗力が弱まり、特に肺炎で死亡する危険性が高まる高齢者は注意が必要である。血管壁がもろくなり脳出血もおこりやすくなる。BMIが19未満では男性、女性ともに死亡リスクが肥満より高いという報告もあるため、バランスの良い体重コントロールを心がけることが大切である。

平成18年より約10年あまり浪速区医師会発行の区医だよりのあとがきを桧山先生、森本先生と私の3人で3ヶ月に1回担当してまいりました。私の書いた内容にはあとがきらしいところはありませんでしたが、お許し戴き今回で終了させていただきます。長い間ありがとうございました。



目次	ページ
巻頭言	
茶道始めました。川畑 雅義	1
理事会報告(4月開催)	2
4月度学術報告 富永 良子	5
6月度学術講演会のお知らせ	6
浪速区医師会活動の伝言板	7
あとがき	8

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 山田郁子 中村泰久
印刷所 株式会社 サ ビ